

今`輝いている`人・団体を取り上げる「ちくしのびと」。

今回は、小学生ながら世界で活躍する若きピアニストを紹介します。

一音一音にかける想い

ピアニスト 熊本 海音 さん



Profile

原田在住。原田小学校5年生。3歳からピアノを習い始め、日本クラシック音楽コンクールや東京国際ピアノコンクールなどさまざまなコンクールで優勝を飾り、世界のコンテストで金賞を受賞。
好きなことは、お絵描き。

感性と努力の少女

「ピアノを始めてからは毎日、4～5時間以上の練習を欠かしたことがあります」そう語る熊本海音さんの表情からは、音に対する真摯（しんし）な姿勢がうかがえます。持ち前の感性と努力を武器に、ピアニストとして国内外で活躍する熊本さんは、一つひとつの音と全力で向き合う日々を送っています。

熊本さんがピアノを始めたのは3歳のころ。母親がピアノ教室を開いていたこともあり、物心が付くころからピアノの音が身近にある環境で育ちました。そんな熊本さんが練習の中で特にこだわっていることは、イメージ通りの音を出すこと。幼いころから、曲を聴くとその曲の持つ物語が連想されるという熊本さんは、そのイメージに合った音が出るまで決して妥協しません。「理想の音に近づくまで、何度も試します。ときには1音のためだけに8時間も練習したことがあります」と熊本さんは話します。



▲アクロス福岡で演奏する熊本さん

世界に響かせるこだわりの旋律

日々の努力の成果は、確実に実を結んでいます。日本クラシック音楽コンクールでの最高位受賞や東京国際ピアノコンクールでの第1位受賞など幼いころから名だたるコンクールで優秀な成績を収めてきました。また、アクロス福岡シンフォニーホールで九州室内合奏団と共演をしたこともあります。

熊本さんの活躍は国内だけではなく、イタリアで参加したオーディションでは、音大生や大人も参加する中で、小学生ながらに選出され、プロのオーケストラとの共演を果たしました。また2月には、世界中から受講者が集う、名門ウィーン国立音楽大学のマスタークラスに参加し、そこでも受講者の中から、特別コンサートへの出演の機会を獲得し、演奏することができました。

熊本さんは、令和6年度だけでも海外の11のコンクールで最優秀賞を獲得

得。今年の夏には、念願であったアメリカ、ニューヨークにある伝統あるコンサートホール、カーネギーホールで演奏を行います。

忘れることのない地元愛

世界で活躍する熊本さんですが、次の目標は地元、福岡での初リサイタルの開催です。「応援してくれる人たちに、今の自分の音を届けたいです。生まれて育った場所での演奏は、私にとっても大切な意味があります」と力強く話してくれました。

「お世話になった人たちへの感謝を忘れることなく、世界で活躍し、皆に愛されるピアニストになりたいです」熊本さんの紡ぐ音には、聴く人に物語を運ぶ力強さと、心に寄り添う優しさがあります。その音楽が、これからどのような世界を描いていくのか。彼女の成長は、まだ始まったばかりです。



▲自宅で練習に励む熊本さん